



## 6/13(金)長崎市中総体～軟式野球第3位～

前号で、中総体の試合結果を報告したところですが、軟式野球については、順延が続いていました。6月13日(金)にようやく試合が行われ(10時開始予定が12時に変更)、全日程を終了しました。

本校は片淵中・長崎中・小島中との4校合同チームで参加し、惜しくも準決勝0-7で敗退しました。応援に行かせてもらいましたが、いいプレーもあり、雰囲気もまとまっていました。平日ということもあり、保護者の皆様、関係者の皆様方も様々な対応等で大変だったことと思います。改めて感謝申し上げます。

## 6/16(月)2年生平和学習～RECNA 中村先生から学ぶ～

昨日、2年生は5校時のST(総合的な学習の時間)で長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)の中村桂子先生をお迎えし、核廃絶に関する学習を深めました。

最初に出された問いは、「核廃絶は夢なのか?」つまり「不可能なのか?」というものでした。中村先生は、「そこ(核廃絶)に行きたいと思えば、それは選択肢の一つになる。夢でなく現実のことになる」というようなお話をされました。その後は、「なぜ80年前の原爆について知ることが必要なんだろう?」「どうして核兵器をなくす必要があるのか」などについて、世界の現状をもとに考えを深めました。

過去のあるネットニュースの映像をもとに『爆発力の低い核兵器が…』というタイトルを見てどう思ったか?という問いの場面がありました。記事の中では、「爆発力」については長崎原爆の3分の1という説明がありましたが、中村先生から次のような話がありました。

- 爆発力が低いというが、たった1発でも核兵器によって悲惨な状況になることを私たちは知っている。だから、このニュースがどれだけ悲しいことなのかがわかる。
- 私たちは、このニュースについて正しく見る「ものさし」を持っている。

生徒の皆さんはどのようなことを考えたでしょうか?

そして、講話の後半では「9615、この数は?」という問いが出されました。現在、9か国にいつでも使える核弾頭があるそうですが、その数が9615。もしこれらが実際に使われたら、間違いなく多くのかけがえのない命が失われ、無数の人々の生活が大きく変化することでしょう。そして、被害を受けた人たちの苦しみは決して消えることなく、いつまでも続くでしょう。最後に中村先生は、その9615発を「心のものさし」で感じてほしいと言われました。

2年生の皆さんは、今回の講話で、いろいろと心に残ったこと、深く考えさせられたことがあったのではないかと思います。お礼の言葉を述べた一倉 瑚々菜さんも、多くの学びがあったことを伝えていました。

平和学習については、本校も毎年実施しており、生徒の皆さんもそのたびに新たな学びがあったり、改めて深く考えさせられることがあったりしていると思います。1年生は20日(金)に平和フィールドワークが予定されています。また、7月8日(火)の被爆体験講話など、外部機関の専門家の方から話を聞く機会があります。ぜひ自分事として、平和を築くことの大切さを考えていきたいものです。



## 大きな行事の後は…？

私たちはよく「節目」という言葉を用いることがあります。節目とは「物事の区切り」ということです。大運動会、中総体等の大きな行事が終わり、気持ちを切り替えて**次の新たな目標**に進んでいくことができればと思います。

これから、皆さんはどのような目標をもって日々を過ごそうと考えていますか？3年生は「次は受験に向けて」、1・2年生は「期末テストに向けて」「次の大会に向けて」など、目標を掲げていくのではと思います。

中総体推戴式でも話しましたが、何かに直面するとき、普段の行い、振る舞いが必ず結果になってあらわれます。謙虚な気持ちや思いやりをもって、日々の生活を送ることがよい結果につながるがあります。

もし結果を求めるのであれば、努力を重ねることが大切になります。努力は貯金と同じ。やればやるほど自分の中に蓄えられるのです。

まずは、確実に「続けよう」という意思を大切にしていきたいですね。



### 6月後半～7月の主な行事（現時点での予定）

6月		7月		
20	金	1年平和フィールドワーク	8 火	2年デートDV防止教室（3・4校時） 被爆体験講話（5・6校時）
26	木	期末テスト（5時間日課）	10 木	生徒総会（5・6校時）
27	金	期末テスト（4時間日課、給食なし）	17 木	SNS講話（6校時）
1	火	校長講話（6校時）	18 金	1学期終業式 ※通知表配布はありません。
4	金	振替休日（7/5(土)分）	19 土	伊良林校区まつり
5	土	土曜授業 5校時公開道徳、学年・学級PTA等		

## 6/14(土)老連研修会に参加しました

桜馬場ふれあいセンターで「認知症高齢者の理解と接し方について」をテーマとした研修会に参加しました。研修会には、PTAからも平戸様と永江様もご参加いただきました。

「認知症の理解～徘徊の理由～」と題した講演を聞きましたが、その中では令和5年に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」（「認知症基本法」）が制定されたこと、予防・対策として、高齢者の方が孤立しないようにすることが大切であること、脳の細胞はどんどん「引退」し、脳の中で働く脳細胞が急激に減っていくことで認知症へのスイッチが押される結果になること、などを学びました。

資料の中に「なるほど」と感じたことがありましたので、一部概要を紹介させていただきます。

### もしまちで気になる人を見かけたら

○ゆっくり近づいて、話しかける。（目線を合わせ、ゆっくりと穏やかな口調で）

「こんにちは」「いい気候ですね」など、事象にあった普通のあいさつから

○一方的に相手のことを聞くのではなく、「どこどこの〇〇です」など、自己紹介から始めると、相手は自分のことを話しやすくなる。

○「お買い物ですか」「お散歩ですか」など、具体的に優しく声をかける。

○声をかけてもうまくいかない場合は、いったん離れて間をおく。または近所の他の人に連絡して、助けを求める。自分だけで解決しようとせず、警察等に連絡することも大切。